

令和8年3月6日

足立区立梅島第二小学校
校長 竹花 正徳 様

足立区立梅島第二小学校 開かれた学校づくり協議会

令和7年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

学校の教育目標に「ゆたかな子」「かんがえる子」「つよい子」の3つを掲げ、人間尊重の精神を基調とし、地域の文化や伝統を尊重し、「生きる力」の理念を重視する。社会の一員として、生涯と通し知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成を目指し、成長の礎を築く教育を推進してきました。さらに、あたたかな学習集団を育み、学んだことを必要なときに使い、未来を切り拓いていく児童の育成を図り、児童一人一人を大切にしながら熱心に取り組まれてきました。今年度は他区からの異動、新規採用教員等多くの教員が新しく梅島第二小学校に来たと聞いています。その中でも5月中旬の運動会の開催や学校公開の授業、舞台道具の簡素化・LED照明の工夫による学芸会等に参観でき、直接梅島第二小学校の児童の活動の姿を見ることができました。その際の児童一人一人の頑張りや活躍に感動しました。日常の教職員の皆様の指導によるものと思われました。

年度当初の「梅二小学習スタンダード」「梅二小生活スタンダード」の指導による、学習に入る前の朝のルーティーンづくり、昼休み後の「フェルマータ・タイム」振り返りの時間の活用により、落ち着いた、温かな学校づくりが継続的に行われていました。児童の様子を保護者と密に連携し、問題の未然防止、早期解決を図り、対話的な学習ができる学習集団づくりが行われていました。

「基礎的・基本的な学力の定着・向上」に関しては、年度当初に行った区の学力定着の調査で通過率が国語85.0%、算数85.8%と昨年度より2~7ポイント上回り目標の85%超となりましたが、SP表を基に分析すると、各学年文章の読み取り、文や文章で表現する、表やグラフの読み取り等課題があり、これらの課題を絞り放課後等の時間を活用して、補充学習をしてきたと聞いています。また、ICTを適材で活用した日常の授業の工夫・改善、朝のパワーアップタイム、放課後の補充学にも取り組んできたと報告を受けました。また、AIドリルの活用も進んでいると聞きました。「学んだことを必要なときに使える」の浸透を通し、主体的に学習できる児童の育成を推進していることが分かりました。できる児童の割合が増えてきていることはうれしいことです。

「体力向上と健康・安全の推進」に関しては、月1回の避難訓練の実施、自転車安全教室の実施や、長期休業前等交通安全課の方の朝会での講話の実施等、安全、交通安全に尽力してきました。また、運動の機会が少なくなる時期には、短なわ、長なわ、持久走にも学校全体で取り組み、河川敷で持久走記録会を実施、応援をすることができた保護者好評だったと聞いています。また、年間を通し、外遊びを奨励し休み時間には教員が校庭に出て児童と一緒に遊ぶ姿は梅島第二小学校のよい伝統が続いていました。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

児童朝会のICT活用と参集のハイブリッド、クラスルームの活用、AIドリルの活用、調べ学習や意見交換、プレゼンテーションなどICTを活用した教育活動が推進されました。H&Sにより出欠の確認ができ朝の所在確認や学校だより等の配信、アンケートの実施など効率化がしていました。アンケートについては回収率が高くないと聞きました。また、スマホや学習用タブレット等のICT機器は、私たちの生活を便利する一方で、利用方法を間違えたために人の心を傷つけたり、良好な人間関係の構築を阻害したりするマイナスの事案もニュース等で取り上げられるようになってきています。学校では年度当初や長期休業前にはSASの再確認やスマホ安全教室などの出前授業等を活用し、子供たちに正しい使用方法を身につけさせる機会を設けているようです。各家庭においては責任をもって家庭でのSNSルールやマナーについてご指導いただきたいと考えています。今後、ICT機器も上手に使い、できること、夢中になれることを増やし、一人一人が活躍し輝く学校であることを期待します。家庭・地域との連携を密にし、知・徳・体の調和のとれた児童を育ててください。尚、各教室や体育館にエアコンが有り、学習はできる環境ができています。運動会では昨年度に引き続き児童席にはテントが設置され熱中症対策がされていました。今年度は熱中症対策で6月初めのプール開きによる学校の工夫が見られました。WBGTの高い夏の時期、校庭での活動やプールをつかった学習をどのようにするのが課題と感じています。

3 その他

今年度は外柵がきれいに塗り替えられ、南門と東門が新しくなりました。81周年目、学校の長い歴史の中で新たな1年の年と聞きました。通常学級11、特別園学級2の13学級でスタートできました。令和8年度は入学希望者が50名を超えてると聞きました。梅島第二小学校は少人数のあたたかな学校ですが、どの学年も2学級が維持できることが望ましいと思います。地域の皆様とともによりよい学校をつくっていきましょう。

物価高騰、バスを確保するのが難しい中、生活科見学、社会科見学、TGGの実施、また、デフリンピックの見学、笑顔プロジェクトを活用したバスケットボールの授業、芸術体験等の実施、本物に触れる機会を創っていただいたことに感謝いたします。

全校児童の心に残る1年となったことをうれしく思う。令和8年4月からの学校教育活動のさらなる発展を期待しています。